

解答

問一	① 見識	② 骨子	③ 好敵手	④ 清算	⑤ 看過
問二	⑥ 委細	⑦ 一糸	⑧ 進物	⑨ 寸評	⑩ 兆(徵)候
問三	⑪ ウ 2 エ 2 イ 2	⑫ オ 3	⑬ エ 工	⑭	⑮

二

問一 筆者が対談直前は、ゲストに会いたくないとさわいで周囲を困らせたくせに、対談が終わると何事もなかつたかのように、会えてよかつたと言うから。

問二 A 人見知りなわけない B 開き直る
C ウチへ帰つて布団にもぐりたい

問三 ア 幼いころ私はわがままで泣き虫だったので、友達に意地悪されたとき、いつも近くに母がいて助けてくれました。今も、友人関係で、意地悪をされて母に頼りたくなるときもありますが、学校や塾に母はないし、いつまでも母に頼ること自体恥ずかしいことだと思うようになり、自分で考えて解決をしなければと覚悟を決めています。

問四 茶飯事
本當は人見

問五 ア A イ B ウ A エ B オ A

三

問一 一つ 卑屈なまでの忠実さ
二つ 不憫なまでの報われなさ

問二 辞書は万能でないと知ることで、作成者の努力と熱意が感じられるから。

問三 辞書は荒木
定年になるし、具合の悪い妻のそばについていてやりたいから。

問四 ア 新しい辞書の企画を推進していける、有能な人材を探し出すこと。

問七